

---

## 第4号議案

### 平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）事業計画（案）

---

#### 平成26年度の事業計画策定の5つのポイント

**（1）母校創立40周年に向けて、同窓会組織と同窓会運営のさらなる適正化を図ります。**

母校との間で「同窓会の存在理由」や「母校における同窓会の位置づけ」等々の本質論を話し合い、同窓会組織の組織力強化と会計を含む業務運営の健全化を促進します。

卒業する際の生徒はもとより、異動の際の教職員の個人情報登録の必要性を、同窓会存続の立場から母校と話し合いを重ね、伝統校における同窓会の位置づけと同様な認識を持ってもらえるように善処します。

業務推進委員会による同窓会運営全般の見直しとともに、実運用に即した同窓会会則の変更、加筆修正の検討を進めます。

**（2）同窓会活動を活発に展開するために同窓会役員の増員を図ります。**

これまで以上に卒業生の現況調査を強化し、同窓会役員の勧誘活動を積極的に展開します。

昨年に引き続き「稲毛高校同窓会人材バンク（仮称）」の立ち上げに向けた情報収集を行います。

またコーディネーター・ミーティングやコーディネーター・コミッションを開催し、卒業生の交流を積極的に行います。

**（3）財政面の拡充を目的とした長期計画の立案を行います。**

「活動協力金徴収制度」の運用の開始や同窓会の活動財源の確保を目的とした「稲毛高校ノベルティグッズ」の企画制作を行います。

**（4）母校の創立40周年に向けて、関係者の集まりを企画提案していきます。**

記念事業を展開していくための「母校40周年記念事業準備委員会」の立ち上げや、母校OB教職員やPTAのOB、そして同窓会役員とを束ね、稲毛高校の発展を三位一体になって考えていく「稲毛高校校友会（仮称）」の設立提案などをします。

また母校PTAの役員の方々とのこれまで以上の交流を図るために親睦会等を企画提案いたします。

**（5）その他、これまでの同窓会活動を継続していきます。**

具体的には下記の事項に取り組む予定です。

A. 月例執行役員会、年次総会の開催

B. 同窓会入会式の開催、ならびに新規入会員への卒業記念品の贈呈

- C. 第34回卒業証書授与式への臨席（母校からの申請に基づく）
- D. 母校への寄付贈呈（母校からの申請に基づく）
  - ①学校施設備品助成金
  - ②課外活動助成金
- E. 同窓会名簿の更新と整備
- F. 先生を囲む会・部活動OB会・同期会・クラス会の開催および開催支援
- G. 広報活動